

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ROSELLE 4TH KIDS CLUB				公表日	令和8年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		一日の利用人数に対して十分なスペースが確保できている。事業所外の公園へもでかけ十分に体を動かすことが出来てい		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		戸外へ出る際は特に1対1の支援ができるようにしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされて	7	1	段差が多いことや、大人用のトイレしかないが、その都度職員が子どもの特性を理解し対応している	段差がある箇所には手摺り等を取り付ける必要性を感じる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃を行い、空気の入替えもしっかりと行っている。また、棚の角等にはコーナーガードを取り付けている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		体調不良時や、気持ちを落ち着かせたい時等に使用できる部屋がある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		実行してみてどうだったのか、うまくいったことうまくいかなかったこと等を話す場を設けている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		一年に一度配布して、全員に提出をお願いしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月に一度は事業所会議を行い、事業所全体で情報共有を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		利用児の祖父母様からのお声をいただいています		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		他県の事業所の職員との出張研修やZOOMでの研修会も開催している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		年に一度ホームページにて掲載されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		モニタリングの際や見学時にしっかりと保護者の方と情報共有を行ったり、ご意向を聞き計画書の作成を行っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		全職員がモニタリングに参加して、保護者やご本人の意向を聞き検討している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		議事録会議を行い職員間で検討、訂正等を行い支援にあたっている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認してい	8		相談支援員さんからのワークシート等利用計画に目を通し、確認を行い日々の支援にも活かしている。また、独自のアセスメントシートを活用している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい	8		ガイドラインを踏まえ、5領域を全て盛り込んだ内容で支援計画書を作成している アセスメントや日々のご本人の行動・言動をよく観察し具体的な支援内容を考案		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		個々でプログラムを考え、意見を出し合い次のプログラムへと繋げている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎日行う活動とは別に、デイリープログラムを考え取り組んでいる		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援が行われているか。	8		個人で取り組めるもの、集団で取り組めるもの、様々な活動を取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		事業所外の公園に出る際には特に、どの職員がどの利用者の支援につくのか決めている。また、保護者の方から聞いた利用児の状況等を共有し支援にあたる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		その日には難しいこともあるが、送迎者にしかわからないこと等も翌朝共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		活動内容から本日の子どもの姿、話した内容等、誰が見てもわかるように利用時には必ず記録に残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		誕生月の前月には対面でのモニタリング、半年に一度電話によるモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達管理責任者のみでなく、子どもに関わる全ての職員が交代で参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		日々の送迎時や、担当者会議の際に園の先生との情報共有を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		担当者会議では各々の場所でのこどもの様子を共有したり、どのような内容で支援をおこなっているのか、どのような成長が見られるのか、どのような所が困っているのか等十分に話し合う機会を	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		送迎時に情報共有をしっかりと行うことで、相互理解を深めている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		質の高い支援を行う為、助言等を受ける体	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		事業所外の公園や施設へ出かけたり、事業所の行事に地域住民を招待することで交流を行っている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時やLINEを活用し、情報共有を行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者会では日々の活動内容や、実体験等を伝え、質疑応答を行っている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		見学时、契約時には責任者より説明が行われている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		アセスメントシートを記載していただき、半年に一度対面か電話でのモニタリングを行い、保護者やご本人の意向をお	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		モニタリング時にしっかりとご意向を聞き、案を作成しています。訂正してほしい箇所がある場合はいつでもお申し出ください。とお伝えしています	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		なかなかお会いできない保護者様もみえるので、LINEを活用しています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年に一度保護者会を開催しています。また、音楽祭・スポーツフェスティバル・文化祭等の行事を開催し、交流の場を設けています	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れがあった際には適切に対応できるよう心掛けています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		HPやSNSの活用は無いが、利用していただいた日には個別でLINEでの配信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個別ファイル等は鍵のかかる引き出しに入れている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		送迎時の情報共有の他に、利用日にはLINE配信を行い、文章のみでなく、取り組みの写真も添付している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		年に数回ある行事には地域住民や利用児の先生等を招きインクルージョンを図っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		5つの委員会を設置し、委員長を主として半年に一度全体会議、訓練を行っている。おたよりやLINE配信にてお伝えして	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		室内、戸外それぞれで訓練を行い、避難経路の確認等を行っています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		見学の際にしっかりとアセスメントをとり、一年に一度緊急連絡先カードの提出をお願いしており、服薬や病院を受診された時にはその都度お知らせ頂いています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		こちらも見学じにアセスメントをとり、アレルギー一覧表を作成し、職員一同が把握できるようにしています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		委員会活動では、グループワーク等も取り入れた研修会を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		送迎時のコミュニケーションを大切にしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		月に一度ヒヤリハット報告会を行い、意見を出し合ったり、改善に向けて話し合いを行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		半年に一度の委員会活動を行い研修を行う機会を設けている。また、グループワークでは意見を出し合う場を設けてい	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束を行う場合には必ず保護者に承諾を得て、身体拘束を実施した時間、担当の職員名を記載し記録に残している	